

北海道土地改良事業団体連合会 会報

(隔月1回発行 令和3年1月10日)

根室海峡を昇る初日の出



根室管内別海町の野付半島沖から昇る令和3年初日の出。根室沿岸の中間に位置する同半島は国内最大の砂嘴(さし)地形。背後の湿原にはタンチョウ、オオワシなどが生息し、多様な生態系や景観など良好な自然環境を有している。

(写真提供:別海町)

CONTENTS

●年頭所愿	<u>ķ</u>			●令和3年度北海道農業農村整備事業国費予算···	10
・尾田	則幸	(本会会長理事)	2	2年度補正と3年度当初で1291億円	
・鈴木	直道	(北海道知事)	3	●水土里情報システムがリニューアルします	P
·二階	俊博	(全国土地改良事業団体連合会会長)	4		
・進藤	金日子	(参議院議員)	6		
・宮崎	雅夫	(参議院議員)	6		
・倉内	公嘉	(北海道開発局長)	0		
·石川	善成	(北海道開発局農業水産部長)	8		
・小田原	7 輝和	(北海道農政部長)	9		

道民の財産、「水」「土」「里」を次代へ引き継ごう!

年 頭 所 感

力強化 玉 土強 と農 化の着実な実施を 域



北海道土地改良事業団体連合会 水土里ネット北海道

会長理事 田 則 幸

慶び申し上げます。 新年明けましておめでとうございま 令和3年の新春を迎え、 謹んでお

の落ち込みは戦後最大といわれるな 国内においては1月に感染者が確認さ な影響を与えました。 れて以来、全国に感染が拡大し、経済 ス感染症と闘う未曽有の1年となり、 昨年は、世界中が新型コロナウイル 社会・経済や国民の暮らしに大き

安全・安心な生活を取り戻すことを強 く願うところであります。 ロナ禍を何とか乗り越え、一日も早く 今年は、国民が一丸となってこのコ

06」となった米をはじめ、 したことから、作況指数が 用水確保対策等により、 が、関係機関・団体からの情報発信や 足など農業への影響が懸念されました べて降雪が極端に少なく、 昨年の本道農業は、 天候、 生育も順調に推移 平年並みに農 春先の水不 「良」の「1 畑作物、 例年に比

> り、 飼料作物などの生産は総じて良好とな 明るい出来秋を迎えることができ

測の事態においても対応できる国内の ます。さらに、新型コロナウイルスの 農村をめぐる情勢が大きく変化してい 年、TPP11や日EU・EPAに続き 減産が懸念されております。また、近 減少傾向に加え、コロナ禍による外食 の不安が浮き彫りになり、 で輸出規制を設けるなど、 感染拡大により、 次いで発生し、我が国の食料・農業・ や地震といった大規模な自然災害が相 ローバル化がますます進む中で、 日米貿易協定が発効されるなど、 は需給均衡に向けた主食用米の大幅な 向けの米需要の落ち込みなどで、今年 一方、米については長期的な需要の 一部の国では穀物等 改めて、不 食料確保 大雨 グ

> 高品質、 あります。 を着実に進めていく必要が 業競争力強化と国土強靭化 減災などに向けた農業農村 な生産性の向上が期待でき 食料の安定供給に一層貢献 整備を計画的に実施し、農 産拡大、 るスマート農業の推進や、 していくためには、 引き続き持続的に発展 国民への安全・安心な 農業施設の防災・ 高収益な作物の生

おり、 災、 め、 きな期待が寄せられており 求める多くの声が上がって 中豪雨による洪水・湛水被 設の長寿命化や耐震化、 進することとしています。 年間においても、 の老朽化対策を加速するた 害防止対策のための整備を 農村地域では、 に、予防保全に向けた施設 る自然災害に備えるととも 国においては、激甚化す 令和3年度からの5カ 国土強靱化を強力に推 その着実な実施に大 農業水利施 防災・減 集

こうした情勢に的確に対応 本会といたしましては、 会員331団体の共同

名誉顧

問

安

治

北

大 識 識

名

修

(石狩土地改良区理事長) (当麻土地改良区理事長)

信

監

参

野 \mathbb{H} \mathbb{H}

泰

博

学

経

験 験 教 授

者 者

0

重要性が再認識されております。

供給力の向上に向けた取組

このような中で、

本道の農業・農村

謹 N 令和3年元日 で新年 ご祝詞を申 0 し上げます

北海道土地改良事業団体連合会

総括監 専務理 理 常務理事 副会長理事 会長理事 事 事 鈴 古 岩 加 德 Ш 木 上 木 谷 間 藤 田 地 田 田 本 林 永 輝 隆 弘 陽 哲 則 康 誠 俊 好 英 博 男 三 男 寿 寛 満 美 幸 雄 雄 英 彦 勤 聡 幸 (オロロン土地改良区理事長) (篠津中央土地改良区理事長) (ながぬま土地改良区理事長) (そらち南農業協同組合代表理事組合長) 剜 (厚真町土地改良区理事長 (深川土地改良区理事長) (渡島平野土地改良区理事長) 豊 (てしおがわ土地改良区理事長) (狩場利別土地改良区理事長) (帯広市土地改良区理事長) (沙流土地改良区理事長) (北見土地改良区理事長) $\widehat{\pm}$ (学 (弟 (北海土地改良区理事長) (興 (富良野土地改良区理事長) 学 部 海 富 屈 経 経 町 町 町 長 長 者

総力を挙げて業務の遂行に努めていく の支援などを重点に、 えた土地改良区の業務運営の適正化へ の確保・育成、改正土地改良法を踏ま る技術協力をはじめ、 会員に対する技術援助や国、 機関・団体と十分に連携を図りながら、 利益の増進と負託に応えるため、関係 農業土木技術者 今後とも組織の 道に対す

> 所存であります。皆様のご理解と一層 します。 のお力添えを賜りますようお願 いた

秋を迎えることができますようご祈念申 よう、そして皆様とともに笑顔で豊穣の し上げ、 本道農業・農村にとって発展の年となる 本年は、 年頭のご挨拶といたします。 コロナ禍がいち早く収束し、

ナ禍を乗り越え 新しい北海道づくりを進める年に



北海道知事 直 道

新年明けましておめでとうございま

新春を迎えるに当たり、

謹んでご挨

甚大な影響が生じるなど未曾有の危機 多くの尊い命が失われ、社会経済にも 社会経済活動の両立に向けて各般の対 て本道においても、この感染症により を及ぼした1年でした。我が国、そし ウイルス感染症が世界的に大きな影響 拶を申し上げます。 昨年を振り返りますと、 この間、感染拡大の防止と 今もなお厳しい状況が続い 道民や事業者の皆様 新型コロナ

> しながら、ご理解とご協力をいただい ていることに改めて感謝を申し上げま

ご協力を賜りますようお願い申し上げ まいりますので、皆様には引き続きの 道民の皆様の命と暮らしを守るため、 私たち道民が一丸となって取り組んで 私自らが先頭に立って全力を尽くして いかなくてはなりません。今後とも、 現下のコロナ禍を乗り越えるために

括民間委託がスタートするとともに、 4月には林業人材の育成・確保を担う した中でも、1月には道内7空港の一 厳しい1年ではありましたが、こう

多くのご苦労やご負担をおかけ

ています。 ポイ」がオープンするなど、本道の更 の拠点となる民族共生象徴空間「ウポ た。さらに7月には、アイヌ文化振興 北の森づくり専門学院が開校しまし なる発展につながる新しい芽も生まれ

は、ウィズコロナ・ポストコロナの中 やエネルギー資源といった本道の価値 が見られます。雄大な自然や冷涼な気 会への要請など大きな社会変革の兆し 集中への不安や働き方に対する意識の ています。 で、一層輝きを増してくるものと考え 候、ゆとりある空間、多彩で豊富な食 見直しやデジタル化の進展、脱炭素社 また、コロナ禍において、 さらには、サプライチェーンの 都市 極

要を再び獲得するための取組をはじ ニュートラルや北海道Society5.0の推 業・人材の誘致、さらには、カーボン げ、道内、国内はもとより、 みである食や観光の魅力を一層磨き上 第一歩を刻む年となるよう、大きな強 大限に引き出し、未来に向けた飛躍の 極的に展開してまいります。 進など、時代の先を見据えた政策を積 め、テレワークやワーケーションと いった新しい働き方の導入等による企 本年は、こうした本道の可能性を最 海外の需

トラベル・ワールドサミットなど世界 また、本年は、東京オリンピックの .幌開催やアジア初のアドベンチャー

謹 賀 新 年

令和3年元日

北海道土地改良事業団体連合会

石狩支部長 後志副支部長 知支部長 川支部長 鈴 尾 (富良野土地改良区理事長) (篠津中央土地改良区理事長) 山 木 健 也

島支部長 山支部長 河村康 酒 (狩場利別土地改良区理事長) 渡島平野土地改良区理事長) 誠

町

高支部長 振支部長 川 上 山 田 (沙流土地改良区理事長) (厚真町土地改良区理事長) 英 雄 満

路支部長 勝支部長 德 小 $\widehat{\pm}$ 林康 永 哲 雄

室支部長 曽 別 (弟 根 子 町

硲

宗谷支部長 萌支部長 河 田

留

規模のイベントが予定されているほ の世界遺産登録への期待がふくらむ年 か、長年活動を続けてきた縄文遺跡群

捉え、道民の皆様と共に、 います。 道づくりを進める年にしたいと考えて でもあります。こうした好機を着実に 新しい北海

らお祈り申し上げ、 希望に満ちた年となりますよう、心か たします。 本年が、皆様にとりまして、 新年のご挨拶とい 明るい

闘う土地改良」を活動の基本に 農業農村の発展に積極的に貢献



全国土地改良事業団体連合会全国水土里ネット 長

俊 博

ご祝詞を申し上げます。 に携わる全国の皆様に、謹んで新年の 令和3年の年頭に当たり、土地改良

ました。 れまで経験したことのない1年となり 新しい仕事の仕方が求められる等、こ 各国で感染拡大し、新しい生活様式、 昨年は、新型コロナウイルスが世界

よりお見舞い申し上げます。 ともに、被災された多くの皆様に衷心 御冥福を心からお祈り申し上げますと 雨により、 また、7月の豪雨や台風による暴風 お亡くなりになられた方々の 全国で多くの被害が発生し

わる皆様方には、 に重要であり、 農地や農業用施設の復旧・復興が第一 回復していくためには、被害を受けた 被災された方々の生活を一刻も早く 日頃から土地改良に携 全国各地で復旧・復

> について、心から敬意を表します。 興の先頭に立っていただいていること

的・技術的な支援を求める声が高まり、 結果であったと思います。 係者が一丸となって、 なって御活躍頂きました。土地改良関 でも進藤金日子・宮崎雅夫両参議院議 員の皆様の御尽力を頂きましたが、中 が議員立法として成立致しました。こ 昨年6月、ため池に関する特別措置法 め池の防災工事を推進するための財政 全国のため池の関係者の方々から、た の議員立法の成立には、多くの国会議 「平成30年7月豪雨」を契機として、 礼を申し上げます。 全国で32カ所のため池が決壊した 法案の検討段階から中心と 全力で対応した 心から厚く

来、「闘う土地改良」を掲げて参りまし さて私は、本会の会長に就任して以

> 果、 ことが出来ました。 削減前を大幅に上回る予算を確保する た。そして組織一丸となって闘った結 補正予算などを含めまして、

た。 15兆円が予算化されることとなりまし 災・減災の為の国土強靱化対策が延長 らに、令和2年度の補正予算を含める り、政府予算案においては、4445 の皆様からの熱意ある要請活動によ され、新たな5ヶ年加速化対策として、 と6300億円となります。また、防 億円を確保することができました。さ 業農村整備の着実な推進を求める全国 令和3年度予算につきましては、 農

老朽化が進行しており、食料生産の増 ます。一方で、全国で農業水利施設の 高齢化、担い手不足に加え、地域活力 と共に、心から御礼を申し上げます。 危惧されております。 多大な損害をもたらすのではないかと ばかりでなく、国民の生命や財産にも 大、非食料用米への転換に支障を来す から、状況が一段と厳しくなっており す。また、コメなどを巡る先行き不安 の低下などの課題が山積しておりま 皆さまの活動に深く敬意を表します いま、全国の農業農村では、 、過疎化·

す。 施設でも大変大きな被害が続いていま 多発化する傾向にあり、 また、近年、自然災害が大規模化、 農地・農業用

> れました。 村を次の世代につないでいくこととさ 識を分かち合い、国民全体で農業、農 果たす農業・農村は「国の礎」との認 供給や国土保全などの多面的な役割を 村の現状、課題を理解いただき、食糧 農村基本計画」が閣議決定され、 鑑み、昨年3月に新しい 者はもとより国民の皆様方に農業・農 これらの農業農村の危機的な事態に 「食料·農業· 農業

参りたいと思います。 と一体となって取り組み、所期の成果 得ていく努力が必要と考えます。皆様 広く国民の皆様にアピールし、共感を 経験を活用し、「闘う土地改良」を活動 は、これら政府の動きと軌を一にして、 が得られますよう、 発展させていくことの重要性について えて、水土里ネットが農業農村を守り、 くことが重要であると考えており、加 の基本におきつつ積極的に貢献してい これまで培ってきた技術と蓄積された 私たち土地改良担当者としまして 引き続き奮闘して

年の初めに当たり、 国の皆様にとってよき年であり、日々 待申し上げますとともに、新型コロナ 健やかに過ごされますようご祈念申し ウイルスの不安が払拭され、本年が全 活力を得て、一層発展しますようご期 します。 最後になりますが、 私の新年のご挨拶といた 本年も農業農村が 本日、輝かし

農業・農村の振興に向けた活動を継続



参議院議員 進 藤 金日子

服することが最重要課題です。 かったと思います。まずは、このコロ 態に陥るとは誰もが想像だにしていな を迎えた時には、まさかこのような事 に当たり衷心より感謝申し上げます。 から大変お世話になり、 経セミナーへのご協力をはじめ、日頃 金日子と農山漁村を考える会」等の政 ナ禍を国民一体となって乗り越え、克 に翻弄された1年でした。昨年、新年 昨年は、新型コロナウイルス感染症 新年明けましておめでとうございま 北海道の皆様には、 新年を迎える 昨年の「進藤

引き続き「防災・減災、 令和2年度第3次補正予算は1855 わせて6300億円確保できました。 地域の要請に基づき、 3年度に執行可能な予算として全国各 した。土地改良予算に関しては、令和 15兆円程度で実施されることになりま ための5か年加速化対策」が事業規模 れました。まずは、3か年緊急対策に 令和3年度予算の政府案が閣議決定さ 令和2年度第3次補正予算と 補正と当初を合 国土強靱化の

> ら予算案については、 据えた農村の定住条件を整備する農村 激甚化する災害に備えるため、ため池 減災、国土強靭化の推進に関連して、 進することとしています。また、防災 汎用化、農業水利施設の維持・保全等 確化され、収益性・防災性の向上に資 策大綱」に基づく施策の実施関連で7 億円であり、「総合的なTPP等関連政 向けて努力して参る所存です。 補正予算の早期成立に向けて全力を尽 されますが、まずは令和2年度第3次 整備事業も盛り込まれています。これ としています。更にポストコロナを見 を実施する土地改良事業を重点的に推 する農地の大区画化、水田の畑地化 障の確立と国土保全等を図ることが明 算は4445億円であり、 上されています。また、令和3年度予 災害復旧の推進関連で1155億円計 00億円、 や農業水利施設の整備を推進すること 令和3年度予算の年度内成立に 防災・減災、 通常国会で審議 国土強靭化と 食料安全保

昨年は、 宮崎雅夫参議院議員と連携

めて参る所存です。

向け、しっかりと活動を進 持って農業・農村の振興に ました。引き続き緊張感を となった例も多くなってき どにより、課題解決の一助 国会質問に反映したり、 をお聴きし、こうした声を くの方々から様々なご意見 土地改良関係者をはじめ多 どが挙げられます。加えて、 での土地改良特集の実施な 等の推進に関する特別措置 業用ため池に係る防災工事 が出来ました。「防災重点農 農水省に直接伝えることな 民党部会等で発言したり、 女性局機関誌の「りぶる」 の発刊できたこと、 る土地改良」(全国事例集) 自民党農村基盤整備議員連 法」の議員立法による制定、 して一定の成果を出すこと | 農業農村の振興を先導す (二階俊博会長) 自民党 として 自

援をお願い申し上げ、 もに、更なるご指導とご支 すよう祈念いたしますとと 年が素晴らしい年でありま のご挨拶といたします。 北海道の皆様にとって本

謹 賀 新 年

令和3年元日

北海道土地改良事業団体連合会

総務金融委員会

副委員長 委 員長 小 Щ 田林 英 康 雄 雄 (厚真町土地改良区理事長) 士 幌 町 長

土地改良区委員会

副委員長 委 員長 鈴 河 村 木 弘康 美 英 (渡島平野土地改良区理事長) (富良野土地改良区理事長)

管理運営体制強化委員会

副委員長 委 員 長 鈴 横 井 木 信弘 美 (深川土地改良区理事長) (富良野土地改良区理事長)

受益農地管理強化委員会

副委員長 委 員 長 酒 Ш 井田 誠 英 雄 (狩場利別土地改良区理事長 (厚真町土地改良区理事長

土地改良負担金対策事業審査委員会

員 長 本 間 勤 **道** 土地連 常務理 事

委

委員長。 国刊 管 (1) 上述 (1) 上 幸(道土地連会長 理 事

農業農村整備推進委員会

副委員長 委 員長 小山河鈴菊 德 永 村 木 地 康 弘 哲 博 雄 英 美 雄 (渡島平野土地改良区理事長 (富良野土地改良区理事長 (ながぬま土地改良区理事長) 士 (厚真町土地改良区理事長 (弟 子 幌 屈 町 町 長 長

農業・農村を守り発展させていくために



参議院議員 宮 崎 雅 夫

北海道の土地改良関係の皆さまに謹ん で初春のお慶びを申し上げます。 明けましておめでとうございます。

だいておりますことに敬意を表します 心よりお見舞い申し上げますととも が、影響や被害等に遭われた方々に衷 増して厳しい状況に見舞われました ルス感染症や豪雨災害など、例年にも また、昨年は全国的に新型コロナウィ 支援を賜り心より感謝申し上げます。 とともに、私の国政活動に甚大なるご 推進、農業農村の活性化にご尽力いた 大限の努力をしてまいる所存です。 に、速やかな回復や復旧に向け私も最 皆さま方には、平素より土地改良の

ことができました。これを受けて11月 には農林水産大臣、 成立により新たな法的枠組みをつくる 工事等の推進に関する特別措置法」の 法「防災重点農業用ため池に係る防災 金日子参議院議員と取り組んだ議員立 全国各地からのご要望を踏まえ、進藤 激甚化する自然災害対策への 昨年の通常国会では、近年の 総務大臣、 防災担

> 方財政措置の拡充など事業推進に向け 当大臣による三大臣会合が持たれ、地 た対応が進められています。

となります。 農業用ため池や農業水利施設等の老朽 深化を図ることとしており、防災重点 までの5カ年加速化対策として、激甚 減災、国土強靭化対策については、現 化対策、予防保全が加速化されること タル化など、取組のさらなる加速化、 た老朽化対策、国土強靱化対策のデジ 化する風水害等対策、予防保全に向け 行の3カ年緊急対策に続き令和7年度 また、皆さまが特にご関心の、防災・

億円、 することができました。1月に開会さ 補正:国土強靭化加速化対策1155 総額6300億円(当初4445億円、 皆さま方のご尽力をいただきながら、 き努力して参る所存です。 に関連法案の早期成立に向け、 れる通常国会では、これら予算ならび 農業農村整備関係予算については、 TPP対策700億円) 引き続

また、 コロナ禍の中で生まれつつあ

きながら努力してまいります。 に向け、皆さま方からご指導をいただ 良の計画的な推進と予算の安定的確保 村を守り発展させていくため、土地改 らも進藤金日子議員とともに、農業農 我が国にとって食料安全保障は重要な 組んでいかなければなりません。さら いでいかなければなりません。これか 水利施設を次世代にしっかりと引き継 取組と併せて生産性の高い農地や農業 課題であり、 に、多くの食料を海外に依存している 通信環境整備などにもしっかりと取り 食糧自給率向上に向けた

ご多幸を心より祈念するとともに、本 願い申し上げ新年の挨拶といたします。 年も変わらぬご支援を賜りますようお 結びに、北海道の皆さまのご健勝と

謹 んで新年のご祝詞を

る都市から農村への人の流れをとら

. 農村インフラの持続性確保や情報

令和3年元日

促進協会 北海道海岸農地保全対策事業

 \mathbb{H} 昭

会

長

石

廣

(湧別町長)

副 会長 笹 Ш 洸 志 (遠別町長)

金 澤 瑛 (標津町長)

理 事 片 尚 春 雄 (寿都町長)

監 事 久 伊 保 藤 弘 浩 志 (猿払村長) (小清水町長

(事務局 北海道土地改良事業団体連合会)



基幹的な社会資本の整備や

国土強靱化を実施



北海道開発局長 倉 内

いて申し上げます。 謹んで、新年のお喜びを申し上げます。 年頭にあたり、本年の主な取組につ 明けましておめでとうございます。

実な推進です。 1つ目は、北海道総合開発計画の着

しっかりと行ってまいります。 幹的な社会資本の整備と維持管理を 港湾・空港、 性の向上等の観点から、 移動や物流の効率化、 海道」を目指し、地域の定住環境の確 のキャッチフレーズである「世界の北 後は、中間点検の結果を踏まえ、計画 作業を進めているところであり、その 目途とする中間点検最終報告に向けて の中間点検を行っています。年度内を 昨年から第8期北海道総合開発計 国内外からの観光客等を含む人の 農業・水産基盤など、基 農水産業の生産 河川、 道路、

形成です。 2つ目は、 強靱で持続可能な国土の

台風による豪雨、 北海道内では、平成28年8月の連続 平成30年の北海道胆

> 体に対して被災状況調査等の支援など CE(緊急災害対策派遣隊)や災害対 ともに、職員からなるTEC-FOR 所管施設の迅速な応急復旧等を行うと 取り組みます。また、災害発生時には、 に資する社会資本の整備等に重点的に 発生に備え、防災・減災、国土強靱化 を行ってまいります。 策用資機材の派遣等により、被災自治 に、道内における今後の大規模災害の き続き支援を行ってまいります。さら した。被災地の早期復興に向けて、 振東部地震等の大きな災害が発生しま 引

改革に一層取り組んでまいります。 手3法」もしっかりと踏まえ、週休2 業等については、生産年齢人口が減少 る生産性向上など、建設業等の働き方 けて働き方改革が急務です。「新・担い する中、その担い手の確保・育成に向 害対応に重要な役割を担っている建設 3つ目は建設業等の働き方改革です。 確保の促進、 社会インフラの整備・維持管理や災 i-Construction等によ

公 嘉

す。 極的なPRなどに取り組んでまいりま 文化の素晴らしさを体験し、民族共生 多くの方々がウポポイを訪れ、アイヌ 2年7月12日に開業しました。今後も、 の理念に共感していただけるよう、積 ナルセンターであるウポポイは、 アイヌ文化の復興等に関するナショ 令和

副

会長

坂

部

浩

明

当たり、新型コロナウイルス感染拡大 いきます。 海道開発局は引き続き使命を果たして や我が国の発展に貢献できるよう、北 を活かし、我が国が直面する課題解決 ます。また、北海道がその資源や特性 早期発注など事業の的確な執行を図り の両立という視点をしっかり踏まえ、 防止対策と社会経済活動の維持・再生 最後に、上記4点の施策等の推進に

新年のご挨拶とさせていただきます。 勝とご発展をご祈念申し上げまして、 末筆になりましたが、皆様方のご健

謹 賀 新 年

令和3年元旦

化の復興・発展及び国民理解の促進で 称:ウポポイ)」等を通じたアイヌ文

4つ目は、

「民族共生象徴空間

(愛

北海道日本型直接支払推進協議会

会 長 尾 田 則 幸

(道土地連会長 理事)

西 (北海道農政部活性化支援担当局長)

将

旭 Ш 市 長

(事務局 北海道土地改良事業団体連合会)



本道の農業・農村の持続的な発展に向け



新年を迎え、謹んでお慶び申し上げ

を迎えることができました。とかっていることができました。豊穣の秋海道では総じて気象に恵まれ、多くの様々な影響が生じたところですが、北様なな影響が生じたところですが、北口がのを迎えることができました。

おります。
害のない年となることを心から願って大きな災害が頻発しました。本年が災力をなるのでは、九州豪雨など

1/4を占めているなど、我が国の食1/4を占めているなど、我が国の食り、近年では海外への輸出も進展しています。政府は、2030年までに、カロリーベースの食料自給率を45%に向上させるとともに、農林水産物と食品の輸出額を現在の約5倍の5兆円とする目標を掲げました。国民への食料の安定供給を確保するとともに、世界の安定供給を確保するとともに、世界の安定供給を確保するとともに、世界の安定供給を確保するとともに、世界の安定供給を確保するとともに、世界の安定供給を確保するとともに、世界の表が国の機能を表が、

に取り組むことが必要です。者を後押しするよう、農業の体質強化

大を進めます。

大を進めます。

このような中、北海道開発局として
に、全国に先駆けて進められているスる農地の大区画化、地下水位制御シスを推進し、農作業の省力化、生産コストの削減とあわせて野菜類等の生産拡
トの削減とあわせて野菜類等の生産拡
トの削減とあわせて野菜類等の生産拡
トの削減とあわせて野菜類等の生産拡

ダムの洪水調節機能の強化や、近年のに、「流域治水」の取組として、農業用震化のための整備を実施するととも悪対のための整備を実施するとともよりでは、

いります。
により、水害の防止・軽減に努めてまの取組を通じた水田の貯留機能の増進の取組を通じた水田の貯留機能の増進をいます。

平成30年9月に発生した北海道胆振 平成30年9月に発生した北海道胆振 中成30年9月に発生した北海道胆に向 現在、ダム・用水路などの本復旧に向 などで進めており、今後とも、早期の まずと供用開始を目指して工事を推進 とてまいります。

現在、「新たな土地改良長期計画」の場定が進められています。北海道開発安全・安心を守り、我が国の食料供給安全・安心を守り、我が国の食料供給を発展に向け、水土里ネットの関係者の皆様と連携を図りながら、事業の計の皆様と連携を図りながら、事業の計の皆様と連携を図りながら、事業の計の皆様と連携を図りながら、事業の計のと、本で、

申し上げ、新年のご挨拶といたします。て稔り多い年となることを心から祈念年となり、また、北海道の農業にとっ年がはに、本年が皆様にとって幸多き

新年あけまして

北海道土地改

職員部会北海道土地改良事業団体連合会

(網走川土地改良区参事) (会長 佐 藤 英 樹

部

永 田 哲 也

副部会長

天満浩之 (北海土地改良区参事)

斗市農林課長

北



多様な担い手と人材が輝く



北海道農政部長小田原輝和

慶び申し上げます。す。令和3年の新春を迎え、謹んでお新年明けましておめでとうございま

昨年の本道農業は、大きな災害もなく、米の作況が106の「良」となったことをはじめ、多くの農作物で作柄たことをはじめ、多くの農作物で作柄が概ね平年並以上となったほか、生乳が概ね平年並以上となったほか、生乳が概ね平年並以上となったほか、生産についても、前年を上回るペースが概ね平年並以上となったほか、多くの農作物で作柄が、それの本道農業は、大きな災害もない。

ています。
さて、近年、本道農業・農村を巡っては、高齢化の進行や農家戸数の減少による担い手不足のほか、経済のグローバル化への対応、頻発・激甚化する自然災害など、様々な課題に直面しる自然災害など、様々な課題に直面し

需要の減少や消費構造の変化といったもたらし、農業分野においても、食品社会経済や人々の生活に大きな変化をまた、新型コロナウイルス感染症は、

大きくなっています。料の安定供給の重要性が改めて認識され、我が国最大の食料供給地域である本道が果たすべき役割と期待は、一層形で影響が出ていますが、一方で、食

事等の推進に関する特別措置法」に基 その他の災害から国民の生命及び財産 くこととしています。また、 どの整備を計画的・効率的に進めてい 農業生産基盤整備の着実な推進が極め を保護することを目的に制定された た農業水利施設の戦略的な保全管理な 利用拡大に資する草地整備、 る畑地かんがい、自給粗飼料の生産 容易にするほ場の大区画化や農地の排 技術や野菜などの高収益作物の導入を て重要であり、 の安定生産や農村地域の強靱化を図る 水対策、高品質で安定した生産を支え いくためには、安全・安心な農畜産物 防災重点農業用ため池に係る防災工 そうした役割を将来にわたり担って 農業用ため池の決壊による水害や 道では、スマート農業 老朽化し 昨年6月

動への取組を支援しています。 面的機能の発揮に向けた地域の共同活 図るとともに、農業・農村が有する多 滞在・体験等を提供する農村ツーリズ 地域の多様な主体が地域ぐるみで食 内容を取りまとめているところです。 独自の農家負担軽減対策、いわゆる「パ ムを推進し、都市と農村の交流拡大を 年度からの事業継続に向け、具体的な ワーアップ事業」についても、 求める多くの要望が寄せられている道 めるとともに、 備の推進に必要な国費予算の確保に努 また、農村地域の振興を図るため、 地域から事業の継続を 農業生産基盤整 令 和 3

道としては、現在、策定中の「第6対を農業生産基盤整備を計画的から、一個では、の実現に向け、としており、「多様な担い手と人材が輝としており、「多様な担い手と人材が輝き、農村振興推進計画」に関いた。

オホーツク事務所長

金津谷

といたします。 いより御祈念申し上げ、年頭の御挨拶 の秋を迎えることができますことを、 の秋を迎えることができますことを、 本年が皆様にとりまして希望に満ち

謹んで新年のご祝詞を

北海道土地安

事 務 局北海道土地改良事業団体連合会

岩見沢事 事 事 指 参 道 道 技 技 総 技 技 央事 東 北 務 術 業 事 事 企 部 部 術 導 務 務 務 画 務 部 部 次 次 所 所 所 部 所 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 事 正 Ш 宮 松 平 雪 篠 後 眞 中 金 阪 木 武 田 鍋 澤 松 本 田 \mathbb{H} 田 藤 山 林 井 篤 直 憲 淳 寬 達 准 寛 基 史 勝 彦 祐 司 悟 篤 史 也 人

ほか職員一同

9

令和3年度北海道農業農村整備事業国費予算

2年度補正と3年度当初で

. 9 1

補正予算では1855億円が確保さ 円が措置された。また、2年度第3次 地域整備交付金等の関連対策を併せ、 初予算案を閣議決定した。3年度農業 ベースは、6300億円となった。 れ、当初と補正を合せた3年度執行 年度当初予算比12億円増の4445億 農村整備事業当初予算は3333億円 補正予算案、12月21日に令和3年度当 農業農村整備事業関係予算として、前 比は、102・1%、これに農山漁村 で、臨時・特別の措置を除いた対前年 政府は12月15日に令和2年度第3次

91億円で、臨時・特別の措置を除く 業農村整備分)や非公共予算の北海道 対前年比100・フ%が措置された。 を合せた3年度実執行ベースは、12 となり、2年度の補正予算495億円 して796億円、対前年比102・1% 直轄と補助を併せた3年度当初予算と の配分額は未定のため、今後更に上 北海道の農業農村整備事業予算は、 農山漁村地域整備交付金(農

農業競争力強化・国土強靱化対策を 引き続き重点的に推進

ほか、農村に人が安心して住み続けら 理機構との連携等により、 進―を重点事項とし、農業競争力強化 災・減災、国土強靱化と災害復旧の推 ②生産基盤の強化と経営所得安定対策 集約化、担い手確保・経営継承の推進 設や農道等の整備を実施することとし 命化・耐震化、 る。また、農業水利施設の更新・長寿 用の高度化や水管理の省力化を推進す ライン化やICT等の導入により、新 施設の整備等を実施するほか、パイプ 画化や汎用化・畑地化、 や国土強靱化を図るため、農地中間管 の着実な実施③農山漁村の活性化④防 係) れる条件を整備するため、 ため池の防災・減災対策等を実施する たな農業水利システムを構築し、水利 3年度農林水産予算 (農村振興局関 は、 ①農業農村整備、 農地の湛水防止対策、 畑地かんがい 集落排水施 農地の大区 農地集積

地区、 地集積、 規着手地区では、 択された。 るための国営農地再編整備2地区が採 3年度国営事業の北海道における新 ほ場の大区画化と担い手への農 農業用用排水施設等を整備す 国営かんがい排水4

た。 調査として4地区が採択され

]事業着手地

・共栄近文二期=旭川市・鷹栖町 【国営かんがい排水】4地

> ▽美河= ▽岩見沢大願=岩見沢市 ·常呂川下流=北見市 新川二期=幕別町・ 【国営農地再編整備】2地 新ひだか町 頃 町 X

·伊達 = 伊達市]調査着手地区

▽風連多寄=士別市・ ▽篠津運河下流=江別市・当別町 ▽清川二期=帯広市 【国営かんがい排水】3地 名寄市 X

川湯跡佐=弟子屈町 【国営総合農地防災】 1 地

I.令和3年度農林水	概算決定の総	額(総括表)		
区分	2年度 予算額	3年度 概算決定額	2年度 3次補正追加額	
	億円	億円	億円	
農林水産予算額	23,109	23,050	10,519	
(対前年度比)		99.7%		
1 公共事業費	6,989	6,995	4,549	
(対前年度比)		100.1%		
一般公共事業費	6,793	6,797	3,099	
(対前年度比)		100.1%		
農業農村整備	3,264	3,333	1,855	
(対前年度比)		102.1%		
林野公共	1,830	1,868	957	
(対前年度比)		102.1%		
治 山	607	619	461	
(対前年度比)		102.1%		
森林整備	1,223	1,248	496	
(対前年度比)		102.1%		
水産基盤整備	<i>7</i> 11	726	280	
(対前年度比)		102.1%		
海岸	45	63	7	
(対前年度比)		140.1%		
農山漁村地域整備交付金	943	807	_	
(対前年度比)		85.6%		
災害復旧等事業費	196	198	1,449	
(対前年度比)		101.2%		
2 非公共事業費	16,120	16,055	5,971	
(対前年度比)		99.6%		

- (注)
- 金額は関係ベース。2年度予算額は「臨時・特別の措置」を除いた金額 計数整理の結果、異動を生じることがある。 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

国営事業新規6地区で着手

農業農村整備事業関係予算(案)の概要

令和2年12月21日 北海道土地改良事業団体連合会調べ (単位:億円)

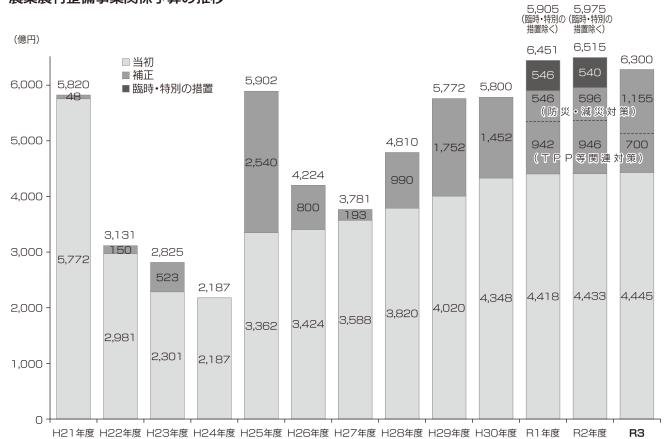
	1日 北海坦土地以及争采图件建口云调(1) (平位:18日)					
項目	3年度 予算案	2年度 3次補正案 B	合計 A+B	【参考】		
块 口	ア昇条 A			2年度予算額 a	元年度補正額 b	合計 a+b
《全国分》	3,850	1,855	5,705	3,772	1,480	5,252
農業農村整備事業	102.1%					
農業農村整備事業(公共)	3,333	1,855	5,188	3,264	1,466	4,730
(補正は、防災・減災、国土強靭化対策:TPP等関連対策)	102.1%		109.7%	(3,775)		(5,241)
農地耕作条件改善事業等(非公共)	248	0	248	250	14	264
展地州[[宋]] 以音爭未守(介召六)	99.2%					
農業水路等長寿命化・防災減災事業(非公共)	258	-	258	258	-	-
	100.0%					
農山漁村振興交付金(非公共)	12	-		-	-	-
(情報通信環境整備対策、最適土地利用対策)	皆増					
農山漁村地域整備交付金(公共:農業農村整備分)	595	-	595	690	62	752
(補正は、防災・減災、国土強靭化対策:TPP等関連対策)	86.2%					
全 国 計	4,445	1,855	6,300	4,462	1,542	6,004
1 1	99.6%		104.9%	(4,973)		(6,515)
《北海道分》	796	495	1,291	815	502	1,317
農業農村整備事業	796	495	1,291	780	502	1,282
農業農村整備事業(公共)	102.1%	490	100.7%	(887)	302	(1.389)
(補正は、防災・減災、国土強靭化対策:TPP等関連対策)	102.170		100.7 /0	(001)		(1,309)
農地耕作条件改善事業等(非公共)	未定	未定		26	-	26
農業水路等長寿命化·防災減災事業(非公共)	未定	-		9	-	9
農山漁村振興交付金(非公共)	未定	_		_	_	-
(情報通信環境整備対策、最適土地利用対策)						
農山漁村地域整備交付金(公共:農業農村整備分) (補正は、防災・減災、国土強靭化対策:TPP等関連対策)	未定	-		85	12	97
北海洋計	796	495	1,291	900	514	1,414
北 海 道 計				(1,007)		(1,521)
※()						

^{※1} 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しない。 ※2 下段(%)は、前年度予算額との比率である。

※()は臨時·特別の措置を含む

決定

農業農村整備事業関係予算の推移



水土里情報システムが リニューアルします



